

# 宮崎県立看護大学研究紀要投稿規定

## 1. 本紀要の目的

本紀要は本学専任教員の研究成果の発表の場として、定期的に刊行される。

## 2. 投稿資格

投稿は、原則として、本学専任教員に限る。但し、本学専任教員との共同研究者および研究紀要委員会（以下「委員会」という。）が依頼した者についてはこの限りではない。

## 3. 論文の採否および掲載順序

原稿掲載の採否は、査読者の判定を参考にして委員会が決定する。論文は原則として受理した順に掲載するが、編集の都合上順序を変更することもある。

## 4. 研究上の倫理規程の遵守

人体を対象とする研究はヘルシンキ宣言（1964年、1975年改定、2000年改定）に述べられている科学的、道徳的規範を満たすこと。人体被験者には研究内容をあらかじめ十分に説明し、必ず自由意思に基づく同意を得ること。動物実験では、動物福祉の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて痛みや苦痛を与えないような配慮が必要である。従ってその方法について、本文の実験方法の項で詳しく記載すること。

## 5. 投稿原稿の種類および書式

### 1) 原稿の種類

総説、展望、講座、原著（短報を含む）、事例報告、資料とする。原著および短報は未発表のものに限る。原著は本誌10頁以内、その他は5頁以内を原則とする。

### 2) 原稿の書式

(1) 原稿はA4判の用紙にワード・プロセッサを用い、和文の場合は1頁あたり22字×22行を目安に作成すること。英文の場合は国際版タイプ用紙（216×280mm）に1頁あたり200語を目安にダブル・スペースで作成する

こと。本誌1頁に相当する原稿は、和文原稿で4枚、英文原稿で3枚、引用文献で20件となる。英文は必ずあらかじめnative speakerにより校閲を受けておくこと。

最終受理原稿は、MS-DOSテキストファイルに変換し、3.5インチのフロッピー・ディスクに保存し、原稿とともに提出すること。

- (2)a. 和文表題部（1頁目）：表題、著者名、所属、キー・ワード（5項目以内）
- b. 英文表題部（2頁目）：表題、著者名、所属、キー・ワード（5項目以内）
- c. 和文抄録（3頁目）：800字以内
- d. 英文抄録（4頁目）：200語以内
- e. 本文（5頁目以降、項目毎に改頁）
  - ・原著・短報での項目（Ⅰ. 序論、Ⅱ. 対象と方法、Ⅲ. 結果、Ⅳ. 考察）
  - ・事例報告での項目（Ⅰ. 序論、Ⅱ. 事例、Ⅲ. 考察）
  - ・その他の原稿では適宜項目を立て、見出しを付ける。
  - ・項目番号は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、…；1、2、3、…；1)、2)、3)、…；(1)、(2)、(3)、…；a、b、c、…の順に使用する。
- f. 本文に続いて（項目毎に改頁）、謝辞、文献、図の説明とし、最後に図表を添付する。
- g. その他：外国語の単語（人名、学名、薬物名、商品等）は原語で記載し、固有名詞の頭文字は大文字、他の単語の頭文字は文頭以外は小文字とする。数字は算用数字を用い、単位は国際単位系を用いること。

(3) 引用文献：文献は下記の例にならって引用順に、著者名は全員列記すること。雑誌名は、欧文雑誌でIndex Medicusに示されている略称を、和文雑誌では各雑誌により決められている略称を用いること。本文中には、引用順に、引用箇所の右肩に1)、2)、3)の形式で番号をつけること。

### a. 雑誌の場合

著者名：論文表題、雑誌名、巻(号)、最初頁

-最後頁，発行年（西暦）

- 1) 薄井坦子，嘉手苺英子，山本利江，山岸仁美，新田なつ子：ナイチンゲール看護論の形成過程を探る—思索への示唆を通して—（2），ナイチンゲール研究3号，52-60，1995.
- 2) Davidhizar R., Austin J. and MacBride A. ; Attitudes of clients toward taking medication in the hospital, Research in Nursing and Health 9, 139-146, 1986.

b. 単行本の場合

著者名：表題，書名，編者，版，最初頁-最後頁，発行所，発行年（西暦）

- 1) 薄井坦子：科学的看護論，第3版，3-18，日本看護協会出版会，1997.
  - 2) Virginia Henderson：The nature of nursing — a definition and its implications for practice, research, and education —, 9-33, National league for nursing press, 1991.
- (4) 図表および表：図の説明は一括して別紙（A4用紙）に記載すること。表は簡潔なタイトルを付けて1表1枚とすること。本文中には図1，表1（英文では，Fig.1，Table1）のように記載すること。また，図表の挿入希望箇所を本文原稿右欄外に赤鉛筆で示すこと。

図と表にはそれぞれに通し番号を付けて提出すること。写真は原寸大までの鮮明なものをA4用紙に貼って提出すること。カラー印刷（別途料金）を希望する場合にはカラープリントを添付し，その旨を明記すること。被験者が本人であると判断できるような写真を掲載する場合には，その許可を得たことを示す文書コピーを添付すること。

## 6. 原稿の締切

原稿の締切は10月末日とする。

## 7. 紀要発行日

研究紀要の発行日は年度末（3月末日）とする。

## 8. 原稿の送付先

論文は査読者に送られるので，オリジナル1部と共にコピー2部を付けて下記宛送付すること。

但し，図が写真でコピーが難しい場合は，原図写真3部添付すること。

〒880-0924 宮崎市大字郡司分乙2203番地  
宮崎県立看護大学附属図書館内 研究紀要委員会

## 9. 校正

原則として，著者校正は初校までとする。その際の大幅な加筆訂正はできない。

## 10. 別刷

著者（first author）には50部を無料で贈呈し，それ以上の部数を必要とする場合は，著者の実費負担とする。

## 11. 著作権

本紀要に掲載された論文の著作権（著作財産権，copyright）は，委員会に属する。論文に他の人の図表を転記する場合は，著作権の所有者より転載許可を受け，そのコピーを提出すること。

3巻1号の投稿論文の査読は、次の方々と研究紀要委員で行いました。

浅野 昌充, 大名門裕子, 串間 秀子, 高橋 美紀, 寺島 久美,  
名原 壽子, 花野 典子, 布施 裕二, 三宅 玉恵, 山岸 仁美  
(五十音順)

研究紀要委員

三瓶眞貴子 (委員長)  
橘 宣祥  
阿部 恵子  
加藤 幸信  
田中美智子

猪股恵美子 (編集事務担当)

---

## 宮崎県立看護大学研究紀要

第3巻 (第1号)

2002年9月 発行

発行所 宮崎県立看護大学  
〒880-0924 宮崎県宮崎市郡司分乙2203番地  
T E L 0985-59-7700 (代) F A X 0985-59-7773

印刷所 北一株式会社  
〒880-0903 宮崎県宮崎市太田3丁目1番31号  
T E L 0985-51-5100

---